

19 路面電車南北接続事業の推進について

路面電車の南北接続は、南側と北側に分断されている路面電車を交通結節拠点である富山駅の高架下で接続することにより、都心地区と北部地区とを結ぶLRTネットワークを構築するものです。

富山駅南側の富山地方鉄道富山軌道線と北側の富山港線とを制振軌道で延伸・接続し、高架下にバリアフリー対応の新停留場を設置することにより、新幹線及び在来線との乗り換え利便性が格段に向上します。

なお、事業の手法は、軌道の整備は本市が行い、運行は富山地方鉄道株式会社及び富山ライトレール株式会社が行う上下分離方式を採用するとともに、平成30年度に低床車両(LRV)を1編成導入し、平成31年度の全線開業を目指します。

このうち、第1期事業は平成26年度末に完成しており、引き続き、第2期事業(軌道延伸・接続及び低床車両導入)の推進について格段の配慮をお願いします。

<路面電車南北接続事業(第2期)>

- 1 事業年度 平成26年度～平成31年度
- 2 事業費 約1,357百万円
(低床車両1編成の導入費286百万円を含む)
- 3 事業延長 約90m
- 4 事業者 富山市、富山ライトレール株式会社

路面電車南北接続事業計画図

